

第2学年 社会科学習指導案

日 時 令和4年11月8日(火) 6校時

場 所 2年1組教室

生 徒 2年1組 男13名 女16名 計29名

指 導 者 中村 正史

1 単元名 6節 東北地方 ―伝統的な生活・文化を受け継ぐ人々の暮らし―

2 単元について

(1) 教材観

本単元は、学習指導要領解説〔地理的分野〕の内容「C 日本の様々な地域(3) 日本の諸地域」の小項目にあたる。この単元は、7つの地域に区分した日本のそれぞれの地域について、自然環境、人口や都市・村落、産業、交通や通信、その他の事象を中核とした考察の仕方を基にして、空間的相互依存作用や地域などに着目し、日本の諸地域の地域的特色や地域の課題についての知識を身に付けさせ、地域的特色ある地理的な事象を他の事象と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成することを主なねらいとしている。

東北地方では、広大な土地を利用して様々な農業が行われてきた。とりわけ稲作が盛んで、自然環境と共に、東北地方の生活・文化に大きな影響を与えてきた。しかし、近年の社会情勢の変化によって、地域の伝統的な生活や文化、産業にも変容が見られるようになったが、一方で伝統を生かしながら新しい製品を開発する取り組みが始まるなど、地域の伝統や文化を見直し、それを守り育てる活動も盛んになっている。また、交通網の整備は観光資源の価値を高めたり、工場の進出を促したりしている。

以上に鑑み、「その他の事象を中核とした考察の仕方」の中でも「生活・文化を中核とした考察の仕方」を選択することが、東北地方の地域的特色や地域の課題を捉えうる上で効果的であると考えられる。

(2) 生徒観

生徒は東北地方について「海、山など自然豊か」「雪がたくさん降る」「農作物が豊富」「人口が少ない」など、自然環境や人口、産業の面からおおまかに特色を捉えている。中には「伝統的な文化がある」「方言」など、生活・文化の視点で捉えている生徒もいる。東北地方の祭りや年中行事を挙げさせると「ねぶた」「さんさ」「なまはげ」という回答が多いが、実際に見たことがある生徒は「ねぶた」や「さんさ」でいえば1割程度である。

学習に関するアンケートにおいて生徒たちの様子を見ると、「文章を読んだだけではわからないとき、自分で図や表に書き直してみるようにしている」や「集めた資料を比べて、共通点や違いを見つけ出すようにしている」という項目が低くなっている。また、授業では自分の考えを全体で発表することに消極的な様子も見られることから、段階的に自分の考えを整理し、発表できるようにしていく必要がある。

(3) 指導観

① 研究主題とのかかわり

本校の研究主題は「学び合いの中で自分の考えを表現できる生徒の育成 ～ICTの活用を通して～」である。本単元では、単元を貫く課題を「東北地方では、なぜ伝統的な生活・文化を守り、継承する動きが見られるのか」と設定し、東北地方の生活・文化を自然環境、産業、伝統行事、交通・通信と関連付けながら東北地方の地域的特色を考察していく。タブレット端末を活用しながら、資料から読み取ったこと、考えたこと、判断したことを説明したり、他者の意見や考えを取り入れたり、発展させたりしながら課題に取り組んでいきたい。また、「地域の在り方」の学習を視野に入れ、自分の住む地域について主体的に考えられるよう地域的な課題の解決に向けて考察、構想し、表現するという視点を持ちながら指導していきたい。

② ICTの効果的な活用

生徒の学習アンケートを見ると、「文章を読んだだけではわからないとき、自分で図や表に書き直してみるようにしている」や「集めた資料を比べて、共通点や違いを見つけ出すようにしている」といった項目が低い。

本単元では、東北地方の伝統行事や祭りなどを実際に見たことがないということから、ICTを使いながら資料提示をしたり、自分の課題を設けて調査活動を行ったりすることにより、主体的な学びを促していきたい。また、シンキングツ

ールを使うことで、他者との意見を比較すること、自分の考えや判断したことを説明することが効率よくできること、自分の考えがより深まっていくことの良さを実感させていきたい。

3 単元の目標

- ・東北地方の地域的特色や地域の課題について、生活・文化を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解する。 **【知識及び技能】**
- ・東北地方において、生活・文化を中核とした事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結びつき、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。 **【思考力・判断力・表現力等】**
- ・東北地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする。 **【学びに向かう力、人間性等】**

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・東北地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 ・生活・文化を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東北地方において、生活・文化を中核に設定した事象の成立条件を、地域のひろがりや地域内の結びつき、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東北地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

5 単元の指導計画（全5時間） 評定に用いる評価（○），学習改善につなげる評価（●）

	ねらい・学習活動	知	思	態	評価規準・評価方法
1	【ねらい】 東北地方を特色づける地理に関わる事象を見だし、単元の見通しをもつ。 【学習課題】 東北地方の自然環境にはどのような特色が見られるのか。				
	<ul style="list-style-type: none"> ・東北地方の地形、気候、主な産業を調べる。 ・単元の学習課題をとらえる。 			●	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な生活・文化を中核とした考察の仕方に基づいて設定した単元の課題について、見通しをもって主体的に追究しようとしている。 【態】 （ワークシート）
【単元を貫く学習課題】 東北地方では、なぜ伝統的な生活・文化を守り、継承する動きがみられるのだろうか。					
2	【ねらい】 生活・文化の視点から、東北地方について主体的に調べる。 【学習課題】 生活・文化の視点から、東北地方について調べよう。				
	<ul style="list-style-type: none"> ・生活・文化の視点から、個人で調べる事柄を決め、調べ活動を行う。 			●	<ul style="list-style-type: none"> ・東北地方の特色を、生活・文化の視点から様々な資料を用いて主体的に追究しようとしている。 【態】 （タブレット）
3	【ねらい】 東北地方で大きな祭りが行われている理由を考察する。 【学習課題】 なぜ大きな祭りが東北地方の各地で行われているのだろうか。				
	<ul style="list-style-type: none"> ・東北地方で行われている大きな祭りの共通点を探す。 ・大きな祭りが行われている理由を考える。 		●		<ul style="list-style-type: none"> ・東北地方の祭りの共通点をふまえ、東北地方で大きな祭りが行われている理由を考察し、表現している。 【思】 （ワークシート）
4 本 時	【ねらい】 さらに祭りや年中行事を活用するための工夫を考察する。 【学習課題】 東北地方を訪れる観光客を増やすためにはどのような工夫をすればよいだろう。				
	<ul style="list-style-type: none"> ・観光資源としての価値が高まる中、さらに祭りや年中行事を活用するためにはどのような工 		●		<ul style="list-style-type: none"> ・東北地方の祭りは観光資源としても高い価値を持ち、その資源をさらに有効活用するための工

	夫をすればよいかを考える。			夫を考察し、表現している。 【思】(ワークシート, タブレット)
5	【ねらい】 東北地方の伝統産業とその生まれた背景, 課題について理解する。 【学習課題】 東北地方の伝統産業はどのように変化しているのか。			
	・伝統産業が生まれた背景と課題を考察する。 ・南部鉄器の輸出額や新製品について資料から読み取り, 時代の変化に合わせた工夫を調べる。	●		・東北地方の伝統産業や地場産業が発展した理由について, 自然環境の特色と関連付けて理解し, その知識を身に付けている。 【知】(ワークシート)
6	【ねらい】 東北地方での災害の教訓をふまえ, 今後の社会のあり方について考察する。 【学習課題】 東北地方では災害の教訓をどのように生かそうとしているのか。			
	・東北地方の過去の災害を調べ, 教訓を読み取る。 ・東北地方の地的特色と先人の思いや今後の社会のあり方について考察する。	●		・人々がどのような思いで教訓を受け継ぎ, 未来へ生かそうとしてきたのかを多面的・多角的に考察し, 表現している。【思】(ワークシート)
7	【ねらい】 東北地方の学習を振り返り, 東北地方の伝統的な生活や文化が守られ, 継承されてきた理由を考察する。 【学習課題】 東北地方ではなぜ伝統的な生活や文化を継承する動きが見られるのか。			
	・これまでの学習を振り返りながら, 生活・文化を中核とした考察の仕方を取り上げた東北地方の地的特色をもとに, 東北地方で伝統的な生活や文化が守られ, 継承されてきた理由を考察し, まとめる。	○	○	・単元の学習課題に対する考えをこれまでの学習してきたキーワードをふまえながら表現している。【思】(ワークシート, タブレット) ・東北地方の自らの学習を振り返り, 北海道地方の学習に向けて調整しようとしている。 【態】(ワークシート, タブレット)

6 本時の指導

(1) 目標

東北地方の祭りは観光資源としても高い価値を持ち, その資源をさらに有効活用するための方策を考察し, 表現する。

(2) 校内研究との関連

【視点1】 自分の考えを表現できる力の育成について

展開では, タブレットを使用して自分の順位付けの結論を提出させる。個人で意見をまとめる際につまずきが見られる生徒も出ることが考えられることから, 他者の意見を参考にできるようにしていきたい。また, タブレットを使いながら全体で意見を共有することにより, 様々な視点から意見が考えられることや共通点があることを実感させていきたい。

【視点2】 自ら課題に粘り強く取り組む力の育成について

東北地方を訪れる人を増やすためにどうしたらよいか, タブレットを使用し, ペアで順位付けを行うことにより, 自分の考えを効率よく整理させられるようにしていきたい。

(3) 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点および評価
導入 4分	<p>1 前時の学習の確認。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東北三大祭りの共通点を確認する。 ・なぜこれらの共通点が出てくるのかという理由の確認をする <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・開催時期が夏 ・豊作を祈る行事が多い ・おおきなもの (ねぶた 竿燈), 迫力がある ・参加者が多い ・多くの人を訪れる ・昔から行われている, 歴史がある </div> <p>2 資料を読み取り, 学習課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「東北六大祭りの観光入込客数の推移」と「愛知県犬山祭りの観光客入込客数の推移」を比較する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時でとりあげた共通点や大きな祭りが行われている理由を確認する。 ・東北六大祭りの観光入込客数は横ばいだが, 犬山祭りの観光入込客数は 1. 4倍, 2倍と増加していることを確認する。
<p>東北六大祭りを訪れる観光客を増やすにはどうすればよいだろう。</p>		
展開 38分	<p>3 方策を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統や歴史 ・作るものの規模の大きさ ・交通網の整備 ・宿泊場所を増やす ・屋台など, 買い物できる場所の整備 <p>4 東北六大祭りの特徴について確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催時期が同時期で複数の地域で行われる ・伝統, 歴史, 文化財 ・作るものの規模の大きさ ・交通 ・地元に住む人たちのかかわり ・その他 (宣伝, 体験など) <p>5 6つの方策の中で最も優先したほうが良いと思うものを個人で1つ選ぶ。</p> <p>6 ペアでランキングをつける。【視点2】</p> <p>7 グループで意見を交流する。</p> <p>8 個人でランキングの結論と順位付けした理由を書く。 【視点1】</p> <p>9 全体で意見を共有する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活経験や既習事項をもとに自由に考えさせる。教科書や資料集を使って考えたものについては, 参考にしたページをメモさせる。 ・生徒の予想の段階では単に「祭り」という視点だけで考えるおそれがあるので, 「東北地方」という視点を再確認する。 ・生徒がどの項目にあてはまるか悩むこともふまえ, 「その他」の視点を付け加える。 ・ペアで話し合うためのきっかけにさせる。 ・シンキングツール「ピラミッドチャート」を使いながら順位付けを行う。 ・グループでそれぞれのペアで考えた順位を, 理由を示しながら説明する。 ・グループでの意見交流をふまえ, 上位2つを選んだ理由をワークシートに書かせる。 ・ランキングをタブレットで提出させる。
<p>生徒の記入例</p> <p>1 観光客が魅力を一番感じるのは規模の大きさだと思うので, それを守り続けていくことが一番大事だと思う。交通網を整備することによって観光客が増えた地域もあるので, 2番目に交通網の整備が大事だと思う。</p> <p>2 まずは知らないと訪れる人はいないと思うので, 宣伝していくことが一番大事だと思う。次に観光客も参加できるようにすることによって何度も来るようになると思うので, 体験をとり入れることが大事だと思う。</p>		
終末 8分	<p>10 実例を確認する。</p> <p>11 本時の振り返りを記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の意見に触れながら実例を紹介する。 ・今後の東北地方の学習について確認する。さらに, 「地域の在り方」の学習で一戸町について考えていくときの視点にもなることを確認し, 振り返りを記入させる。